

平成 26 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 東日本銀行
代 表 者 名 取締役頭取 石井 道遠
(コード番号 8536 東証第 1 部)
問い合わせ先 取締役経営企画部長 本田 修
(TEL. 03-3273-4073)

第 16 次中期経営計画「Value Up 東日本 PART II」について

株式会社東日本銀行は、平成 26 年 4 月から平成 28 年 3 月までの 2 年間の計画期間とする第 16 次中期経営計画「Value Up 東日本 PART II」を策定しましたのでお知らせいたします。

1. 計画名称

第 16 次中期経営計画

「Value Up 東日本 PART II ～新たな挑戦と飛躍を目指して～」

2. 当行の経営理念

東京を核とした首都圏において、「フェイス・トゥ・フェイス」の営業スタイルを徹底しつつ、お客様により一層満足いただける金融サービスを幅広く提供することを通じ、地域社会のニーズに積極的に応えていく。あわせて、経営体質を強化し企業価値の絶えざる向上に努める。

それにより、地域社会から信頼される銀行として、地域社会の繁栄に貢献し、地域社会とともに発展していく。

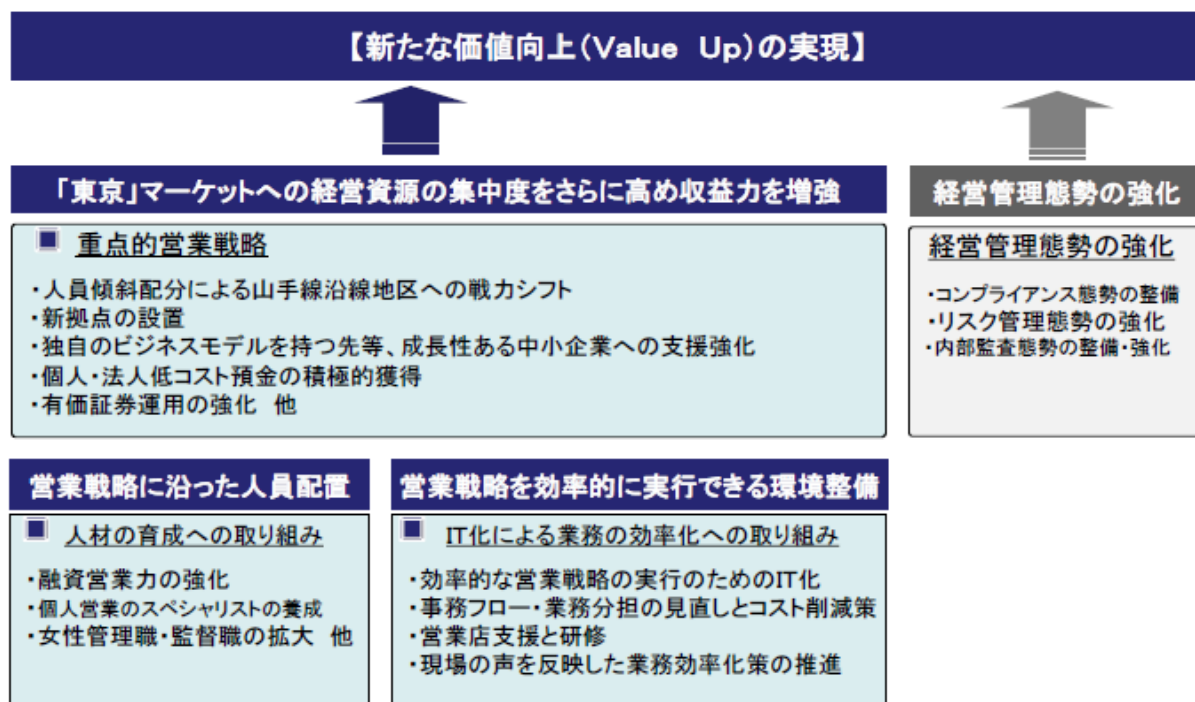
3. 本中期経営計画の基本的な考え方

本中期経営計画は、東京を核とした首都圏において中小企業を中心とした貸出を強化していくという、第 15 次中期経営計画の成長戦略を踏襲するものであることから、名称を「Value Up 東日本 PART II」としました。

また、本中期経営計画の計画期間については、前計画期間を含め全体として 5 年間とするという考え方に従い 2 年間としました。

これは、計画期間中に消費税の 8% への引き上げに続き 10% への引き上げが予定されており、その影響が見極め難いこと、また日本銀行による強力な金融緩和が今後の金融市場に及ぼす影響や出口戦略についても、海外諸情勢の先行きの変化とあわせ、不透明な面が強いことから、今後の経済金融情勢の変化に柔軟に対応できる点にも考慮したものです。

4. 本中期経営計画の概要



5. 目標とする計数

	計画最終年度目標 (平成 28 年 3 月期)	平成 26 年 3 月期実績
貸出金平均残高	1 兆 5,500 億円程度	1 兆 4,280 億円
預金等平均残高 (譲渡性預金含む)	1 兆 8,300 億円程度	1 兆 7,393 億円
預貸率 (平均残高ベース)	85%程度	82.1%
コア業務粗利益	320 億円程度	315 億円
コア業務純益	85 億円程度	85 億円
当期純利益	45 億円程度	54 億円
コア資本比率 (国内基準)	計画期間中 9%程度	9.3%
普通株式等 Tier I 比率 (国際基準)	計画期間中 8%程度	8.0%

以 上